

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公表番号】特表2009-535470(P2009-535470A)

【公表日】平成21年10月1日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-508290(P2009-508290)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/34 (2006.01)

C 0 8 F 226/04 (2006.01)

C 0 8 F 226/06 (2006.01)

C 0 8 F 220/70 (2006.01)

C 0 8 F 216/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 220/34

C 0 8 F 226/04

C 0 8 F 226/06

C 0 8 F 220/70

C 0 8 F 216/06

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 19/10

C 1 1 D 3/37

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月5日 (2010.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 0 . 5 から 8 5 重量 % のクレンジング用界面活性剤 ;

(b) 0 . 1 から 1 0 重量 % の光学的修飾有益剤 ;

(c) 構造 :

(- A -) i (- B -) j (- C -) k

[式中、コモノマー A は、p H 4 から 1 0 で測定したとき 1 つまたは複数のカチオン電荷を有するカチオン反復単位であり ;

コモノマー B は、コモノマー骨格の一部であるおよび / または等価アルカン炭素数 (E A C N) が 4 であるように前記骨格に結合しているペンダント基である少なくとも 1 つの疎水性部分 (この疎水性部分は、3 から 2 0 個の C ₁ - C ₃ アルキレン基および 1 から 3 個の C ₁ - C ₃ アルキル基を含むと定義される。) を含む水不溶性反復単位であり ;

コモノマー C は、ポリマー全体の溶解性を修飾するために選択された反復単位であり ;

i、j および k は、それぞれのモノマーがポリマー鎖において繰り返される回数を表し、ただし、j / i 比は 0 . 0 1 から 0 . 4 であり、k / i 比は 0 . 0 から 0 . 5 であり ;

コモノマー A のカチオン電荷密度は、3 m e q / g でありおよび / または全体のポリマ

ーの電荷密度は 2 である。] を有する 0.01 から 6 重量%のポリマーを含むパーソナル洗浄組成物。

【請求項 2】

ポリマーのコモノマー B が、8 の等価アルカリ数 (EACN) を有するように選択された、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 3】

コモノマー C が、得られたポリマーの水溶解性を高めるために使用される、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 4】

指数 i、j および k の合計が、分子量が 10,000 から 2,000,000 の範囲であるポリマーに対応する、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 5】

ポリマーのコモノマー A の性質および i プラス j プラス k の合計に対する指数 i の比率が、ポリマーのグラムあたり電荷の少なくとも 2.5 ミリ当量のポリマーカチオン電荷密度に相当する、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 6】

ポリマーのコモノマー B の性質および i プラス j プラス k の合計に対する指数 j の比率が、0.1%を超える水溶性を保持するポリマーに相当する、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 7】

ポリマーのコモノマー C が、アミン官能基を含むように選択された、請求項 1 に記載のパーソナル洗浄組成物。

【請求項 8】

有益剤が固体粒子物質である、請求項 1 に記載の組成物。